

総 合 医 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 前 川 正 人
【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

本科目では、プライマリケアセンターでの総合外来ならびに総合診療科入院患者から得られた臨床データや患者情報の調査を通して、大学病院における総合診療に関わる臨床研究を行う。診断確率・効率の向上を目的として、様々な症候や病態の臨床研究を行う。特に、発熱性疾患の診断プロセスと病態、失神の病態と診断について学修する。また、患者情報の分析を行い大学病院における総合診療の役割や地域医療との関係について学修する。

(2) 学修の到達目標

- ① 総合診療、プライマリケアの本質を理解し説明できる。
- ② 臨床データ、患者情報の収集と分析ができる。
- ③ 発熱性疾患の原因と病態を理解し鑑別診断ができる。
- ④ 神経調節性失神の診断と病態について理解し説明できる。
- ⑤ 日本の総合診療の実態と大学病院における総合診療の役割を理解し説明できる。

3 授業内容

【 講 義 】	発熱性疾患の診断プロセスと病態、神経調節性失神の診断と病態について概要を講義する。また、本学における総合診療の実態について解説する。
【 演 習 】	研究テーマとなる症候、病態に関する患者情報、臨床データの収集と分析を行い、関連する最新の文献の抄読と討論を行う。
【 実験研究 】	講義、演習によって構築された研究計画を遂行し、診断確率を向上させるための新たな診断法や診断プロセスを開発する。

4 成績評価の方法・基準

講義、演習の理解度を確認するための口頭試問、学会での発表、論文作成により総合的に評価を行う。

5 教科書・参考図書

特に指定なし。関連する論文や文献を使用する。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前に関連する図書, 文献, 論文を読むこと。
週 7 時間程度は準備学修を行うことが望ましい。

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

総合医学に関連する論文作成を通して, 総合診療, プライマリケアの本質を理解し, 病態の解明や診断確率を向上させるための豊富な知識と理論的な思考を修得し実践できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

オフィスアワーを利用して課題に対するフィードバックを行う。
講義, 演習中に疑問点についての解説を行う。

9 履修上の留意点

臨床研究が主体となるため, 患者の社会的・心理的背景にも十分な注意を払い良好な医師患者関係が損なわれないように留意すること。
研究者として向上心を持って学修すること。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	前川正人	月	16:00~17:00	D棟2階医局	内線 23470
		水	15:00~16:00		